

第27回 黒岩知事との“対話の広場”Live神奈川 参加者アンケート集計結果

1 参加者数・発言者数

参加者数 130名 (アンケート回収数: 106、回収率: 81.5%)
 発言者数 12名

2 アンケート集計結果

(1) 参加者の属性

①お住まいの地域

横浜市	37	34.9%	小田原市	7	6.6%	伊勢原市	1	0.9%	県内のみ	12	11.3%
川崎市	9	8.5%	茅ヶ崎市	3	2.8%	海老名市	1	0.9%	県外	10	9.4%
相模原市	5	4.7%	逗子市	1	0.9%	座間市	1	0.9%	無回答	2	1.9%
横須賀市	3	2.8%	秦野市	2	1.9%	南足柄市	1	0.9%	合計	106	100.0%
鎌倉市	1	0.9%	厚木市	1	0.9%	大磯町	1	0.9%			
藤沢市	6	5.7%	大和市	1	0.9%	箱根町	1	0.9%			

②年代

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
27	18	6	13	17	12	10	3	106
25.5%	17.0%	5.7%	12.3%	16.0%	11.3%	9.4%	2.8%	100.0%

③性別

男性	女性	無回答	計
62	39	5	106
58.5%	36.8%	4.7%	100.0%

(2) 参加した感想

大変良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答	計
53	45	2	0	6	106
50.0%	42.5%	1.9%	0.0%	5.7%	100.0%

良かった合計	良くなかった合計
98	2
92.5%	1.9%

①大変良かった、良かった理由

- ・知事と意見交換できたから。
- ・自分は、ZEHと言うものがあるとは知りませんでした。中高生は、今何ができるかと考えており、今日知ったことは、家族に話そうと思いません。
- ・ZEBやZEHなどを知りませんでした。今日学んで、いろいろと考えないといけないと思いました。
- ・学生の大変良い学習の場であったこと
- ・ZEHについて詳しく聞くことができて、ためになりました。
- ・省エネについて少しは考えているつもりだったが、まだ浅いんだなと思いました。
- ・省エネ等に関する内容について進路の学習でのポイント・対策になりました。
- ・知事が1つ1つの意見を丁寧に返していたこと
- ・大変良かった点は、世代間の意見交換と本質的なマクロな論点が出たこと。ただしもう少し定量的なつかみが必要か。
- ・オリヒメも含め多くの方の発言があり良かった。
- ・この会議の様子が大変先進的で良かったです。
- ・県の方の取組等が聞けたこと
- ・県民・若者からの提案がとても参考になりました。
- ・いろいろな知識を得られたこと
- ・初めて知ることが多くあった。
- ・若い世代の率直な質問や意見が多く、それに対する回答も、大変興味深かった。
- ・中高生の発言がすごく良かったです。
- ・ZEH、ZEBについて、知ることができた。
- ・電力、太陽光発電に関する様々な立場の方の意見が聞けたこと
- ・神奈川が取り込んでいる最先端の情報を知ることができたのがとても良かった。
- ・中高年の情報源がテレビばかりであることについて気になりました。制度設計やキャンペーンなど、行動によって現状を変えていく発想をしたいと思いました。
- ・会場の皆様やネット回線を通じた高野様と知事との生の会話、意見交換が良かった。県の取組現状を知ることができた。
- ・ZEHについて何も知らなかったが、それについてたくさんの知識を得られたから。
- ・知らなかったことについてたくさん知ることができました。
- ・将来の省エネ住宅への興味がわいたのと、まだまだ私には先のことだと思っていたが、今からできる小さなことから始めてみようという考えに変わりました。
- ・ZEHについて知ることができて良かったです。
- ・雰囲気新鮮で活気にあふれていた。明日からの仕事頑張ります。
- ・一人あたりの質問時間が長い。事前にまとめておくことはできないか。
- ・自分が知らなかったZEHについてよくわかった。高校生の意見が大変すばらしく勉強になった。
- ・迷論が発散しないよう、うまく進行されていた。
- ・ZEHという言葉は初めて知ったが、わかりやすく説明してもらい、ためになりました。
- ・良い話ばかりが多かったが、本当でしょうか？
- ・老若男女、様々な方の意見が聞けて良かった。
- ・省エネ住宅ハウスOPのPVがとても良かった。
- ・あまり知らない方々にとっても、わかりやすい対話であった。
- ・ZEHについてどのようなものを理解することができた。

- ・今後の検討課題が明らかになりました。
- ・生徒たちが自ら考える機会となったと思います。
- ・知らないことを知ることができた。
- ・ZEH等、今まで知ることがなかったことを知ることができて良かった。
- ・若い人の意見！がすばらしい。
- ・自分が知らなかったことや、考えたこともなかった話を聞くことができました。
- ・神奈川県で行われている省エネ対策を具体的に知る機会になりました。
- ・皆さんエネルギーについてそれぞれ知識や意見があり、とてもためになりました。
- ・意見交換の場で、他の方々の意見や知らなかったことを知ることができて良かったです。
- ・初めて知ることがいっぱいあった。
- ・その場で県知事に疑問に思ったことを聞いて良かったです。今回は質問はできなかったので、次回は質問しようと思います。
- ・ZEHの普及について、様々な知識を得られた。
- ・高校生がエネルギー問題を自分事としてとらえていることが良かった。
- ・エネルギーなどを今まで考えることがなかったけれど、今神奈川県でどんな取組が行われているのかが知ることができて良かった。
- ・実際に今神奈川で何が起きていてどんな政策をしているのかがわかりました。とても良い経験になりました。
- ・若い人たちが前向きにZEHや太陽光発電を考えていることが印象的だった。
- ・たくさんの意見が聞けた。
- ・実際に知事と話す機会をいただいて、自らも将来の神奈川を支えていくと改めて実感できて良かったです。
- ・神奈川県SDGsの取組が世界の中でも先進的になってることを知らなかった。自分の住んでいる県がこの分野で世界に誇れるということを知ることができて良かった。
- ・知事自から司会をしたのは、とても良かった。
- ・“ZEH”というキーワードを初めて知りました。
- ・私は被災地に赴いて活動をするボランティア団体(大学内)に所属し、防災・災害に関心があるので、エネルギーも密接だと感じた。
- ・可能かどうかは別として提案できたこと。
- ・県民が直接知事に提案できる場の提供
- ・ZEHなど知らないことが多くあったのでためになりました。
- ・知事が9年前から推進してきた成果と今の技術の状況や、導入してきた方、事業者の今の課題意識等を伺えて、大変参考になった。
- ・本当はプラゴミのお話の回に参加したかったのですが、できませんでした。今回の省エネのお話は、今マンション購入を検討中なので参考にさせていただきます。
- ・今まで知らなかった単語について知ることができましたし、他方面からの取組について知ることができて、おもしろかったです。
- ・直接質問でき、実際に住居にかかわっている方から返答が聞けたので良かったです。
- ・高校生の考えを聞くことができた。
- ・知らないことを知ることができて今日のテーマや改善点について詳しく知ろうと思った。
- ・県でエネルギー政策をしているのを初めて知りました。最近省エネ等についてもニュースを聞かなくなり何もなくなってしまったのかと思っていたので安心しました。
- ・詳しい話を聞くことができ、新しいことも沢山知ることができたから。
- ・知らないことを多く吸収できた
- ・知らないことをよく知ることができたので、大人にも伝えたい。
- ・ZEHについて知らなかったのでもとても良い勉強となりました。ZEHを考えリフォームをしたいと思います。しかしコストが少し高くなかなか実現が難しいとも思いました。少しずつZEHの家にできると良いです。
- ・ZEHや分散型電源のお話など、私達がいずれ自立した生活をしていく上で知っておくべきことが聞けたので、ためになった。
- ・家を建て替える時の参考になった。
- ・省エネ、環境についてある程度知識があると思っていたが、まだまだ知識不足なことも多く、ためになった。自分が何をすべきか考えさせられた。
- ・たくさんの人から積極的に手が上がり、いろいろな考えを聞けたのは興味深かった。
- ・エネルギー自立型住居の考え方がわかり良かった。
- ・ZEHのコストについて知ることができた。リフォームもぜひ検討したい。
- ・エネルギーについては不勉強でしたが、これからよく考えようと思うきっかけとなった。

②あまり良くなかった理由

- ・質問は事前に集めてほしい。質問内容が個人的なことになるなら時間のムダ。個別の陳情はやめてもらいたい。
- ・意見交換では「地産地消」にスポットが当たらず、かみあわなかった。太陽光発電への関心が高かった。

(3) 特に印象に残ったもの(複数回答)

知事あいさつ	事例発表	意見交換	その他	無回答	計
47	42	81	7	2	179
44.3%	39.6%	76.4%	6.6%	1.9%	—

「その他」の内容

- ・学生の参加が多いこと
- ・手話&ALSの方の参加
- ・OPの映像
- ・高野さんからの障害者の直面する問題を聞いて考えることがあった。
- ・エネルギー住宅の現状
- ・高野さんのご意見。オリヒメは、私の後輩が開発したものです。(オリィ研究所 吉藤さん)今回本物を見ることができ、また高野さんのご意見もきかせていただき、すごい画期的なロボットを開発した後輩を誇りに思います。

(4) 情報を得た媒体(複数回答)

県のたより	県のHP	チラシ	テレビ、ラジオ	ツイッター	その他インターネット	新聞	家族や知人(職場)の紹介	学校の紹介	その他	無回答	計
10	21	16	0	3	3	0	23	37	12	2	127
9.4%	19.8%	15.1%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%	21.7%	34.9%	11.3%	1.9%	—

チラシの入手場所

- ・ゲスト本人より
- ・本日のゲスト小山氏のFB告知
- ・(株)インダ様の紹介
- ・取引先の会社
- ・ZEH補助金申請担当課からの案内
- ・地球温暖化防止活動推進員関係のメール
- ・県のメール
- ・県から(Blue Earth Projectをしていることから)
- ・Blue Earth Projectの谷口先生からの紹介
- ・モデル工場協議会からの案内

(5) 開催時間

長い	ちょうど良い	短い	無回答	計
2	91	6	7	106
1.9%	85.8%	5.7%	6.6%	100.0%

(6) 取り上げてほしいテーマ

項目	参加者回答
福祉	子どもの貧困と教育格差、貧困、日本の少子高齢化
健康	ZEHと健康の関連、ゲノム食品について(家庭内・外食等や有害・無害を学びたい)
環境	プラスチック使用量の削減、プラゴミ削減について一人一人ができること、ゴミ問題(海の環境について)、地球温暖化対策関係、環境問題、フードロス、食の安全
教育	教育、いじめ
労働	外国人の労働問題、若者の就労、神奈川の労働
産業	神奈川の経済、集合・賃貸住宅の省エネ、ZEB等、EV自動車について、中小企業支援政策の実体と成果、外国人の問題(観光)、観光事業
文化	文化財の保護
県政運営	県民への啓発について行政と民間はどう連携できるのか、上手な補助金の使い方、公務員のあるべき姿
その他	引きこもり(生徒、若者、高齢者)、8050問題、LGBTQ、男女平等について、少子化対策～女性が安心して子どもを産むために周りができること～(職場、地域…)、SDGsへの取組、SDGsに関連して防災と農業の関係性、地震や災害について、防災対策、犯罪、国際協力、横浜市が誘致発表したカジノ

第 27 回「黒岩知事との対話の広場」アンケート

(テーマに関する自由意見)

- ・マンションに住む県民も多いので、その対策も進めてほしい。
- ・学生の引率で伺いました。学校では体験できない経験ができたと思っています。学生個々が今日の議論をそれぞれの成長の糧としてくれることを期待しています。
- ・公務員（研究職）や大学教員として在職中から、エネルギー、地球環境の観点から技術による貢献に関心を持ってきた。退職後は自宅の新築を機に本日のテーマである住まいの省エネ、創エネ、蓄エネを実践することを目指してきた。ただ、現時点ではコストがかかり、一般的に取り入れるのは、ハードルが高い。したがって、この技術が健康や減災に役立つことをアピールし、また、自動車産業の脱化石燃料の動向と融合して、更なる効果を上げることもアピールしたいところである。県や市の行政も地に足の着いた活動に取り組んでいただきたい。
- ・エネルギー自立型住宅が未来の子どもたちのためになる…なるほどでした。
- ・出席者の中で高校生が感心を強く持っていることにとても、好感を持ちました。太陽光パネル設置に係る投資回収の考え方に認識の誤りがあることを聞いて、導入時の理解が十分でないと感じました。
- ・目指すべき理想は大変良いと思いますが、どうしても経営の目線で考えてしまい、閉鎖していく産業もあるのではと感じてしまいます。先細っていく産業の社員としては、どのようにこれから方向転換をしていくのかをしっかりと考えていく必要性を感じました。
- ・売電から自家消費に再生エネルギーの方向がシフトしている中で、特に防災用途であれば蓄電池が必須になってくると思います。太陽光パネルについては、様々な会社製で性能も高いものの価格が下がってきていますが、蓄電池は高いイメージがあったり、安い物は安全性が十分でない等の問題があると思います。一般家庭や事業所等にも導入しやすく、安全なシステムの紹介や、導入に対する補助があれば良いと思いました。
- ・神奈川県は SDGs の先駆自治体ですが、県下の公立病院や避難場所等が、『災害時に最低〇〇時間自立運転可能で機能維持可能』というような規定のようなものがあるのでしょうか。災害時にも主要施設が機能ダウンしない！というような力強い政策があれば、神奈川県への移住も検討したいと思います。
- ・本日一番印象に残ったこととして、中高生の参加が多かったことと、満足のいく回答ができていたのかということが今後考えるべきテーマだと感じました。私自身は太陽光システムについて専門に取り組んでおります。神奈川県内の中高生を対象とした勉強会など機会があれば、ぜひ参加したいと思います。
- ・もう少し具体的に返答がほしい。抽象的な返答が多く、理解、納得できないところがあった。
- ・県の「かなチャン TV」に環境教育プログラムがありますが、理科の授業のようでどうしても他人事のようになる印象があります。本日のような身近なエネルギー、健康とも絡めた

実学的プログラムを希望します。

・“里山資本主義”のように、先進技術に頼らないエネルギー自給のあり方について提起があればなお良かったと感じました。

・意見の中にあつた、県として断熱性能基準を設けることはとても良い取組だと思いました。全国的にも神奈川県は住みたい町が多く、今後のエネルギー問題にとってもより良いことだと思います。ぜひ断熱基準を設けて下さい。

・中高校生が多くいたのは驚いた。教育の重要性を強く感じた。

・2020年のオリンピックに向けてマンションやホテルなど高層のものが多く建っていると思います。高層の建物も一戸建てと同じようにZEHを取りつけることはできますか。

・スマートシティの高校生の質問に回答してほしかった。

・高校生の参加が多く、これからの社会に希望が持てると思った。新しい技術・知識を若い人に知ってもらうことで、さらに新しい技術を生み出す力になると思う。

・今の世の中は便利になり過ぎている。少し時代をさかのぼった状態に向けて進むと良いと思う。

・ゲストの株式会社イソダの磯田会長の発表資料に「暖かい住宅への転居によって有病者が減る」というものがありました。そのような住宅に住むこと自体の効果と、そのような住宅に住むことによって「外出頻度が高くなった」「人を呼ぶことが多くなった」などの二次的な変化によって有病率が減った、ということもあるかと考えます。是非このようなことも調査されると、その普及に寄与できると考えます。アレルギー疾患は住宅の影響大、糖尿病・心疾患・脳血管疾患は、住宅+ α の影響があるなど、今後の検討課題の良いアイデアとなりました。中学生、高校生のしっかりした考えに触れ、嬉しい気持ちにさせていただきました。

・創エネ・蓄エネのメリットは良くわかりました。しかし、心配なのが、そのデメリットです。デメリットも教えてほしいです。私が考えるデメリットは、蓄電能力の低下です。例えば、スマホでも1年も使用すれば半分程度まで低下します。バッテリーの処分の方法も心配です。結局、環境に悪影響を与えてしまうのではないのでしょうか。バッテリーが老朽化した際の対策は何かありますか。例えば、肥料にできるとか…朽ちた蓄電池の対応策まで解決できれば、我々も安心して投資ができるかもしれません。よろしく願いいたします。

・全ての人を取り残さない目標のSDGsですが、今日のテーマは少なくとも、お金のかかる内容になります。お金のない人等のことも今後は考えていくべきだと思います。

・SDGsは、それに関する教育をしている学校の生徒は関心があったり取組をしているとは思いますが、そうでない学校や大人たちは知らない人が多いと思います。講演等も良いとは思いますが、TVやスマートフォンなど、身近なものを利用した方法での情報の拡散を検討していただきたいです。

・学校でSDGsについて学んでいても、やはり知らなかったことも多かったと思います。最後に知事がおっしゃったように、家族でSDGsを知っているのは私だけでした。建築についてはあまり知らなかったし、そういった面からもSDGsについて考えたりすることは大切だと感じました。

・様々な年代の方が来られることはとても良いことですが、高校生が多く来てくれている中、もう少し若者との対話ができる規模の会を開催していただきたい。高校生は全県から参加しています。もう少し早い時間で終わると望ましい。

・ZEH を建てられるホームビルターはまだ少ないと思う。大手のハウスメーカーだけでなく中小のハウスメーカーもお客さんに ZEH を提案できるようにすれば、もっと ZEH が普及すると思う。

・意見交換の時もう少し具体的に説明してくれると良かった。

・集合住宅や賃貸住宅でも同様なエネルギー管理は検討しないのでしょうか。

・太陽光発電の設置と断熱基準を、カリフォルニア州のように政策（条例）として取組んでほしいです。県民の命を守るためです。（現在法律はありません）

・家庭でできる一つ一つの小さなことから意識して取り組んでいきたいと思います。

・ZEH という言葉は、ほとんど聞いたことがありませんでした。戸建の話がほとんどでしたが、今後、マンションの普及においてはどのようにしていくのでしょうか。マンションを ZEH 化するとしたら、どのぐらい販売価格が上昇するのでしょうか。個人個人で地産地消を考えることが大切だと思いました。また、健康面でもプラスになることも理解できました。ただ蓄電をした際、故障や不都合が発生する可能性はあるのでしょうか。

・分散型住宅に関して今回初めて知ったのですが、もし災害等（津波など）でそういった家が全壊・半壊してしまった場合、何かしらの補償を県から得ることはできるのでしょうか。また、私の家は約6年前から電気自動車で、最近は電気自動車も増えていると思いますが、今後電気スタンドを増やさないと追いつかないと思うのですが、県で何か対策を考えているのでしょうか。

・ZEH と健康を結びつける視点は大切であると気付いた。SDGs の取組に注目していきたい。

・私の家は断熱で、冬はとても暖かいのですが、夏は非常に暑いです。外からの熱を遮断しても換気だけでは排熱が追いつかないのではと思います。クーラー以外で内部を冷やす工夫はあるのでしょうか。

・持続可能にするには、多くの年齢層が知っているということが大切で、特に若い年代が更に若い年代に伝えるということが大切かなと思います。ですが1つの発電法に偏るのはよくないと思います。

・会場での意見交換は、いろいろな方の意見、特に若い方の話が聞けて良かったです。蓄電池を個人利用できる対策、特にマンションなど設置が難しい住宅用をぜひ県でも考えてほしいです。

・太陽光パネルだけでなく再エネに関して県の助成があると取り入れやすい。電池に関しても同様。

・PV に経済性を求めるのではなく、自分が環境に対してできることをやると言う気持ちを持ってほしい。自分ができることを考える場にしてほしい。若い人（高校生）の意見は大変心強かった。

・避難所になる学校にソーラーパネルと蓄電池を設置することで、災害時や停電時、断水時にも高置タンク方式でポンプのある施設なら水が給水できるので、どんどん設置して行ってほしいです。

・多忙の中“対話の広場”開催される知事に敬意を表します。再生可能エネルギーは知事の1丁目1番地ですが、最近少し県民の意識が薄れている気がします。ZEHも太陽光も費用が高額なのが悩みです。高校生の質問のレベルの高さに驚きました。



参加者は、断熱住宅の推進に力を入れた。

「省エネ」テーマ
知事と県民対話
130人参加

墨田裕治知事が県民と向き合って意見交換する「対話の広場」が4日夜、県庁で開かれた1日。住まいる省エネ・創エネ・蓄エネを考える」をテーマに130人が参加。持続可能な社会の実現に向け、エネルギの地産地消を進める意義を理解を深めた。

ゲストとして登壇したエネ（ゼロエネルギーハウス）推進協議会の小山貴史代表理事は、エネの経済的メリットなどを説明した上で「未来の子どもたちへのプレゼントとして私たちが世代が取り組んでいくべき」と強調。省エネ住宅を手掛ける工務店「アスタ（鎌倉市）の磯田誠次会長は「太陽光発電と電気自動車（EV）、蓄電池は今和の時代の三種の神器になる」とし、健康にも好影響をもたらすとエネの推進をアピールした。

進業や省エネ機器導入コストに對する抵抗感を減らす方法などについて質問。知事は「クリアで安心して暮らせるエネルギ」を目標とすことが、持続可能な社会を目標とする第一歩だと述べ、災害時にも停電しない自立型エネルギへの意識向上を呼び掛けた。

(香川 直幹)